

ブッダの生涯 ver 1.1 (2010-01-22)

ブッダ

- ・ ブッダ (buddha, 仏陀) : 悟った人
- ・ ムニ (muni, 牟尼) : 聖者
- ・ アラカン (arthat, 阿羅漢、羅漢) : 尊者
- ・ ボーディサットヴァ (bodhisattva, 菩薩) : 悟りを求める存在 (人)
- ・ シッダールタ : カピラヴァストゥにあった王国の太子。
ガウタマ氏 (うじ)。シャーキャ (釈迦) 族。
「ガウタマ・シッダールタ」「釈迦牟尼」「釈尊」
- ・ 仏教の物語
仏伝 : シッダールタ太子の生誕、出家、修行、成道、布教、入滅
ジャータカ (jātaka, 本生物語) : 前世の菩薩の物語 (パーリ語聖典では 547)

ブッダの八相

1. 下天 (兜率天から白象の姿で降下) ⇒最後の「前世」。
2. 託胎 (マーヤーの胎内に入る)
3. 降誕 (マーヤーの右脇から出生) ⇒「シッダールタ太子」として誕生。
4. 出家 (家族を捨てて修行に入る) 29 歳
5. 降魔 (菩提樹のもとで悪魔を降伏)
6. 成道 (悟りを得る) 35 歳⇒ここまでは菩薩の段階。ここから仏陀の段階。
7. 初転法輪 (説法を開始)
8. 入滅 (涅槃。一生を終える) 80 歳⇒輪廻転生から解放される。

八聖地

1. ルンビニー (誕生の地。ブッダの故郷の町はカピラヴァストゥ)
2. ラージャグリハ (王舎城。マガダ国の都)
3. ブッダガヤ (降魔成道の地)
4. ムリガダーヴァ (鹿野苑。初転法輪の地)
5. シュラーヴァスティー (舎衛城。コーサラ国の都。ブッダが神変を見せる)
千仏化現、双神変
6. サーンカーシャ (従三十三天降下の地)
7. ヴァイシャーリー (獼猴奉蜜《みこうほうみつ》)
8. クシナガラ (入滅の地)

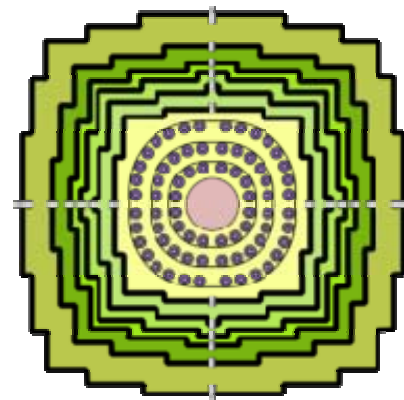
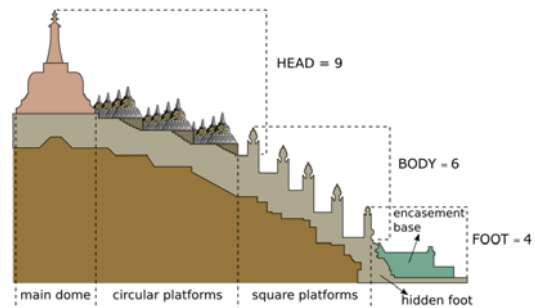
参考 URL

「仏陀の生涯」 <http://www.eonet.ne.jp/~kotonara/budanosyougai.htm>

ジャワにおける仏教物語の進化 (ver 1.2, 2010-01-28)

1. 7世紀以降の東南アジア

- ◆ 部派仏教（上座部・有部）・大乘（密教）併存の時代
- ◆ 「あるいは大乘をとき、小乗をとき、あるいは実教をひろめ、権教をひろむ」（黒谷上人語灯録）
- ◆ 『南海寄帰内法伝』（義浄、7世紀）
- ◆ ボロボドゥール寺院（中部ジャワ、9世紀）
- ◆ 部派仏教（上座部）レベル：浮き彫り
 - 仏伝、ジャータカ（サンスクリット）
 - 『ジャータカ・マーラー』
 - 「スタゾーマ・ジャータカ」
- ◆ 大乘レベル：浮き彫り
 - 『華嚴経入法界品』（善財童子の巡礼）
- ◆ 密教レベル：仏像
 - 五仏思想
 - 『金剛頂経』
 - 第1層～第4層ニッチ
 - ◇ 東側…阿閼如来（触地印）
 - ◇ 南側…宝生如来（与願印）
 - ◇ 西側…阿弥陀如来（禅定印）
 - ◇ 北側…不空成就如来（施无畏印）
 - 第5層四面ニッチ
 - ◇ 毘盧遮那仏=大日如来 Mahāvairocana（法身説法印）
 - 円壇小ストゥーパ
 - ◇ 釈迦如来（転法輪印）



2. 14世紀以降のジャワとバリ

- ◆ 『スタゾーマ・カカウイン』
 - 密教に統合された仏教とヒンドゥー教
 - ジャータカ（スタゾーマ・ジャータカ）
 - 菩薩の転生⇒大日如来の転生
 - スタゾーマという主人公
 - 人食いの調伏というテーマ
- ◆ 「仏伝」の骨格
 - 王子としての出生
 - 結婚・家族⇒結婚前に出家
 - 出家・修行・悟り（ブッダ）⇒出家・修行・悟り（大日如来）
 - 出家者として布教⇒即位、王として結婚・家族、敵への対処
- ◆ ヒンドゥーの英雄
 - 山中で苦行
 - 神から恩寵（武器）⇒大日であることの自覚
 - 悪鬼を倒す⇒悪鬼を調伏
- ◆ 不二元論：聖（僧）=俗（王）、仏陀の教え=シヴァの教え（Bhinneka Tunggal Ika）
- ◆ 物語としてはヒンドゥー教（シヴァ派）に対する優位を含意。
- ◆ 王（武力）⇒王=僧（非戦）

